

平成22年度第1四半期 決算の概要

1 新契約の状況	1 ページ	5 資産運用の状況	5 ページ
2 保有契約の状況	2 ページ	6 基礎利益の状況	7 ページ
3 損益の状況	3 ページ	7 健全性の状況	8 ページ
4 資産・負債の状況	4 ページ		

株式会社 かんぽ生命保険
平成22年8月12日

1 新契約の状況

○ 平成22年度第1四半期の新契約は、個人保険が52万4千件、金額1兆4,935億円、個人年金保険が8万2千件、金額2,813億円となりました。

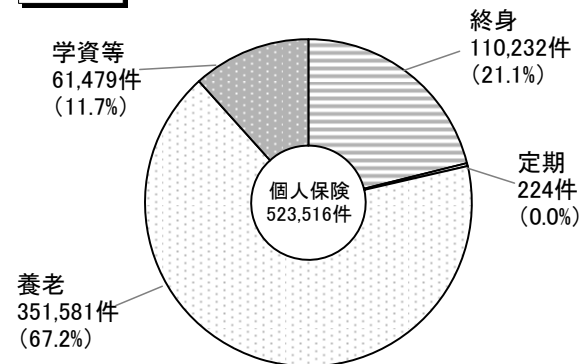
(単位未満四捨五入)

	平成22年度第1四半期新契約 (平成22年4月～平成22年6月)		平成21年度第1四半期新契約 (平成21年4月～平成21年6月)	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	523,516	1,493,523	530,662	1,534,380
普通終身	72,862	250,254	94,801	326,352
定額型	14,021	35,085	13,745	33,630
倍型	58,841	215,169	81,056	292,722
特別終身	37,369	113,889	35,195	104,630
介護終身	1	3	21	71
普通定期	224	508	233	528
普通養老	231,988	593,994	207,082	510,888
特別養老	113,860	464,047	126,947	523,130
特定養老	5,733	5,549	4,643	4,378
学資保険	61,473	65,234	61,666	64,017
上記以外	6	46	74	386
個人年金保険	82,081	281,317	61,070	208,728
終身年金	1,388	10,869	1,441	10,638
定期年金	80,693	270,449	59,629	198,090

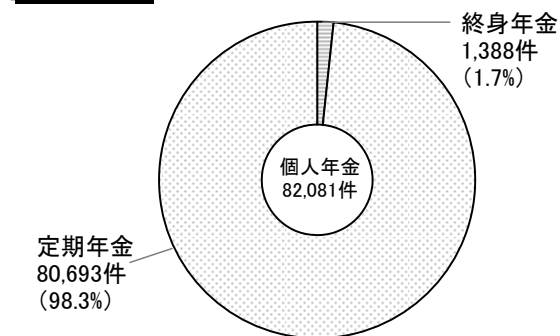
(単位:件、百万円)

平成21年度新契約 (平成21年4月～平成22年3月)	
件数	金額
2,047,392	5,909,077
353,858	1,220,388
53,535	132,969
300,323	1,087,418
137,485	414,244
84	285
915	2,031
825,207	2,078,166
468,733	1,924,130
18,684	17,749
242,078	250,393
348	1,692
216,973	735,294
5,215	40,881
211,758	694,413

個人保険



個人年金保険



2 保有契約の状況

- 平成22年度第1四半期末のかんぽ生命の保有契約は、個人保険482万件、金額1兆3千7億円、個人年金保険54万件、金額1兆8千億円となっております。
- また、独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構から受再している契約は、保険3,904万件、保険金額1兆8千億円、年金保険522万件、年金額1兆9千億円となっております。

【参考】受再している簡易生命保険の契約状況

(単位未満四捨五入)

(単位:件、百万円)

(単位:件、百万円)

	かんぽ生命の保有契約			
	(保険者:株式会社かんぽ生命保険)			
	平成22年6月末		平成22年3月末	
	件数	金額	件数	金額
個人保険	4,815,702	13,696,419	4,342,642	12,343,194
普通終身	730,482	2,469,535	667,048	2,252,618
定額型	112,631	274,752	99,709	242,313
倍型	617,851	2,194,784	567,339	2,010,305
特別終身	296,433	875,766	261,611	769,350
介護終身	171	550	172	557
普通定期	2,065	7,528	1,895	6,674
普通養老	1,985,495	4,969,003	1,772,381	4,431,208
特別養老	1,115,992	4,613,400	1,015,584	4,207,694
特定養老	45,435	49,120	40,225	41,721
学資保険	638,869	708,175	582,944	629,890
上記以外	760	3,341	782	3,482
個人年金保険	535,609	1,766,082	455,285	1,506,087
終身年金	12,253	96,691	11,107	87,785
定期年金	523,342	1,669,292	444,164	1,418,203
夫婦年金	14	99	14	99

	簡易生命保険の保有契約					
	(保険者:独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構)				(保険者:日本郵政公社(当時))	
	平成22年6月末		平成22年3月末		平成19年9月末	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
保険	39,040,364	108,624,550	40,308,140	112,069,407	55,179,692	152,298,879
普通終身	5,248,336	11,924,974	5,310,240	12,060,059	6,037,550	13,700,659
定額型	2,190,507	5,038,944	2,205,112	5,073,125	2,367,177	5,456,120
倍型	909,193	2,623,289	925,953	2,675,995	1,168,631	3,451,588
特別終身	5,864,684	14,073,407	5,923,508	14,187,840	6,577,000	15,478,932
介護終身	8,720	27,636	8,794	27,865	9,518	30,130
普通定期	6,809	32,404	7,296	34,723	12,607	59,300
普通養老	11,425,372	28,025,692	12,062,748	29,578,805	19,264,113	47,243,499
特別養老	8,250,753	38,246,749	8,484,424	39,345,359	11,324,192	52,441,371
特定養老	143,571	260,235	157,271	284,411	173,112	314,368
学資保険	6,669,915	12,370,487	6,818,761	12,660,889	8,869,136	16,393,243
上記以外	1,422,204	3,662,964	1,535,098	3,889,456	2,912,464	6,637,377
年金保険	5,224,030	1,930,572	5,361,038	1,980,354	6,562,824	2,404,505
終身年金	1,366,776	431,415	1,372,941	433,386	1,433,711	453,443
定期年金	3,727,218	1,463,434	3,857,866	1,511,206	4,997,338	1,914,874
夫婦年金	129,938	35,721	130,133	35,759	131,666	36,186

(注)簡易生命保険契約の計数については、管理機構及び郵政公社における公表基準によるものです。そのため、かんぽ生命契約と簡易生命保険契約については、単純に比較することができません。

3 損益の状況

- 平成22年度第1四半期は、経常収益3兆5,891億円、経常費用3兆4,668億円、経常利益1,222億円となりました。
- 経常利益に、特別損益として価格変動準備金戻入額8億円等を加え、契約者配当準備金として896億円を繰り入れた結果、税引前四半期純利益は333億円となり、四半期純利益は213億円となりました。

	平成22年度 第1四半期 ① (22.4.1~22.6.30)	平成21年度 第1四半期 ② (21.4.1~21.6.30)	差額 ①-②
経常収益	35,891	34,960	930
保険料等収入	19,110	19,021	89
資産運用収益 (注1)	4,274	4,019	254
その他経常収益	12,505	11,919	586
支払備金戻入額	1,567	2,082	△ 514
責任準備金戻入額	10,895	9,833	1,062
経常費用	34,668	33,935	733
保険金等支払金	32,754	32,333	420
責任準備金等繰入額 (注2)	47	58	△ 11
資産運用費用 (注3)	364	19	345
事業費	1,301	1,333	△ 31
経常利益	1,222	1,025	196
特別利益 (注4)	8	63	△ 54
特別損失	0	0	0
契約者配当準備金繰入額	896	808	88
税引前四半期純利益	333	280	53
法人税等合計	120	101	19
四半期純利益	213	179	33

(単位:億円(単位未満切捨))

平成21年度 (21.4.1~22.3.31)
145,916
75,056
16,659
54,201
338
53,841
142,120
135,239
214
311
5,492
3,796
251
0
2,943
1,103
402
701

注1 資産運用収益は、利息及び配当金等収入3,938億円、金銭の信託運用益44億円、有価証券売却益290億円等です。

注2 責任準備金等繰入額は、契約者配当金積立利息繰入額47億円です。

注3 資産運用費用は、有価証券売却損229億円等です。

注4 特別利益は、保険業法施行規則で定める積立基準額を超過したことに伴う価格変動準備金戻入額8億円等です。

※ 勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

4 資産・負債の状況

- 総資産は、平成21年度末比2兆983億円減少し、98兆8,713億円となりました。
- 純資産は、その他有価証券の含み益が増加したこと等により、1兆1,990億円となりました。

	平成22年度 第1四半期末 ① (22年6月30日)	平成21年度末 ② (22年3月31日)	差額 ① - ②
資 産	988,713	1,009,697	△ 20,983
現金及び預貯金	10,412	22,878	△ 12,466
金銭の信託	2,267	1,750	516
有価証券	793,607	803,415	△ 9,807
国債	663,916	676,176	△ 12,259
地方債	53,501	51,281	2,219
社債	68,989	69,375	△ 386
外国証券	7,200	6,581	618
貸付金 (注1)	161,970	162,605	△ 634
有形固定資産	969	992	△ 23
繰延税金資産 (注2)	1,868	1,916	△ 48
負債及び純資産	988,713	1,009,697	△ 20,983
負 債	976,723	998,004 (注3)	△ 21,280
保険契約準備金	959,841	972,268	△ 12,427
退職給付引当金	552	541	11
価格変動準備金	4,205	4,214	△ 8
純資産	11,990	11,693	296
資本金	5,000	5,000	-
資本剰余金	5,000	5,000	-
利益剰余金	1,304	1,267	37
その他有価証券評価差額金	685	425	259

(単位:億円(単位未満切捨))

注1 貸付金は、機構貸付158,099億円、一般貸付3,830億円、保険約款貸付40億円です。

注2 繰延税金資産は、責任準備金1,160億円、支払備金508億円等の将来減算一時差異に係るものです。

注3 負債の差額の主な内訳は、保険契約準備金の△12,427億円のほか、その他有価証券のうち未払金△7,601億円、債券貸借取引受入担保金△1,027億円等によるものです。

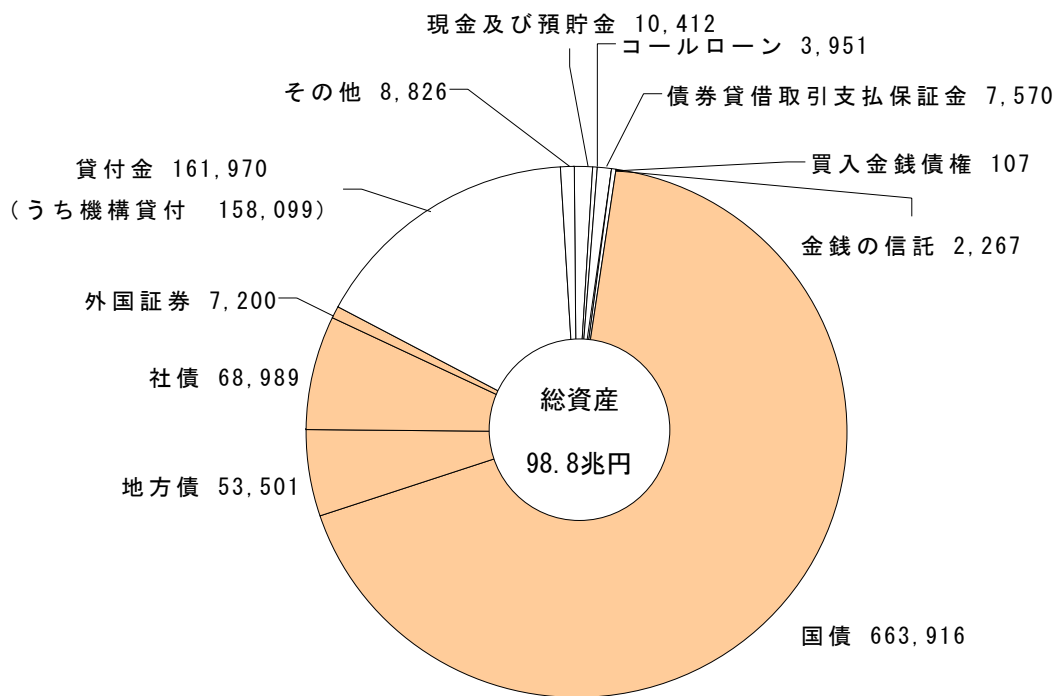
※ 勘定科目のうち主要な科目について掲載しております。

5 資産運用の状況①

○ かんぽ生命の資産運用は、国債を中心とした有価証券が79兆円、貸付金が16兆円等で平成22年度第1四半期末の残高は、98兆8千億円となっております。

1 資産構成

(単位:億円)



2 資産残高

	平成22年度 第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
資産 残高	98.8兆円	100.9兆円	106.5兆円	112.5兆円	113.7兆円

3 運用利回り

	平成22年度第1四半期 (22.4.1~22.6.30)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)
運用利回り	1.57%	1.58%	1.15%

注 運用利回りは、キャピタル損益等を含めた利回りです。

5 資産運用の状況②

- 満期保有目的の債券及び責任準備金対応債券を含めた有価証券全体では3兆5,002億円の含み益となっております。
- その他有価証券では1,073億円の含み益となっております（税効果適用後は685億円）。

4 含み損益の状況

	平成22年度 第1四半期末 (22年6月30日)		平成21年度末 (22年3月31日)	
	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)	帳簿価額	含み損益 (税効果適用前)
合 計	80兆3,893億円	3兆5,002億円	81兆3,504億円	1兆9,664億円
満期保有目的の債券	39兆3,016億円	1兆9,998億円	37兆6,328億円	1兆 38億円
責任準備金対応債券	34兆6,722億円	1兆3,929億円	36兆2,686億円	8,958億円
その他有価証券	6兆4,153億円	(注1) 1,073億円	7兆4,489億円	(注2) 667億円
有価証券等	6兆1,874億円	1,086億円	7兆2,856億円	550億円
金銭の信託	2,279億円	△ 12億円	1,633億円	117億円

注1 税効果適用後の金額は、685億円になります。

注2 税効果適用後の金額は、425億円になります。

5 金銭の信託で保有する株式の含み損益がゼロになる株価水準

	平成22年度 第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	9,800円	8,900円	8,200円	14,500円	16,785円	9,800円

(参考) 日経平均株価、円相場、円金利(10年国債)の推移

	平成22年度第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	公社閉鎖時 (19年9月30日)
日経平均株価	9,382円	11,089円	8,109円	12,525円	16,785円
円ドル	88.48円	93.04円	98.23円	100.19円	115.43円
円ユーロ	107.81円	124.92円	129.84円	158.19円	163.38円
円金利(10年国債)	1.085%	1.395%	1.340%	1.275%	1.675%

6 基礎利益の状況

- 平成22年度第1四半期の基礎利益は1,314億円となりました。
逆ざやが519億円発生しておりますが、死亡率・入院率の低下等による利益である「危険差益」、事業の効率化による利益である「費差益」によりカバーされ、三利源を合計した基礎利益はプラスとなっているものです。
- 平均予定利率は1.97%で、利子利回り1.73%との差は0.23%です。

○ 基礎利益の内訳（三利源）

	平成22年度第1四半期① (22.4.1~22.6.30)	平成21年度第1四半期② (21.4.1~21.6.30)	差額 (①-②)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)
基礎利益	1,314億円	1,096億円	218億円	4,271億円	4,324億円
(内訳) 危険差益	979億円	905億円	74億円	3,247億円	3,545億円
費差益	854億円	1,000億円	△ 145億円	3,386億円	4,316億円
利差益(逆ざや)	△ 519億円	△ 809億円	289億円	△ 2,362億円	△ 3,537億円

(参考) 基礎利益上の平均予定利率

	平成22年度第1四半期① (22.4.1~22.6.30)	平成21年度第1四半期② (21.4.1~21.6.30)	差 (①-②)	平成21年度 (21.4.1~22.3.31)	平成20年度 (20.4.1~21.3.31)
平均予定利率 (注1)	1.97%	2.00%	△ 0.03%	1.99%	2.03%
利子利回り (注2)	1.73%	1.66%	0.07%	1.73%	1.66%

注1 平均予定利率は、予定利息の経過責任準備金に対する利回りのことです。

経過責任準備金は危険準備金を除いた責任準備金により次の式で計算しています。(期始責任準備金+期末責任準備金-予定利息) × 1 / 2

注2 利子利回りは、基礎利益上の運用収支(キャピタル損益を含まない運用収支)等の経過責任準備金に対する利回りのことです。

7 健全性の状況

- 平成22年度第1四半期末では、危険準備金2兆9,571億円及び価格変動準備金4,205億円を合わせた3兆3,777億円を内部留保として積み立てております。
- また、逆ざや等を補填するための追加責任準備金を6兆4,669億円積み立てております。

1 内部留保の積立状況

	平成22年度第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
危険準備金	2兆9,571億円	2兆9,506億円	2兆8,862億円	3兆762億円	3兆3,162億円
限度額(充足率)	3兆1,231億円 (95%)	3兆1,623億円 (93%)	3兆3,588億円 (86%)	3兆5,690億円 (86%)	3兆5,305億円 (94%)
価格変動準備金	4,205億円	4,214億円	4,465億円	5,590億円	6,725億円
限度額(充足率)	4,205億円 (100%)	4,214億円 (100%)	4,465億円 (100%)	5,590億円 (100%)	6,626億円 (101%)
内部留保合計	3兆3,777億円	3兆3,720億円	3兆3,328億円	3兆6,352億円	3兆9,887億円

2 追加責任準備金の積立状況

	平成22年度第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
追加責任準備金	6兆4,669億円	6兆5,400億円	6兆8,504億円	7兆1,925億円	7兆3,779億円

3 実質純資産

	平成22年度第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
実質純資産	(注) 8兆1,582億円	6兆5,987億円	6兆2,036億円	6兆131億円	(注) 4兆7,303億円

4 ソルベンシー・マージン比率

注 保険業法施行規則等の規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。

	平成22年度第1四半期末 (22年6月30日)	平成21年度末 (22年3月31日)	平成20年度末 (21年3月31日)	平成19年度末 (20年3月31日)	事業開始時 (19年10月1日)
ソルベンシー・マージン比率	(注) 1,760.1%	1,663.9%	1,429.7%	1,116.3%	(注) 1,117.9%

注 保険業法施行規則等の規定に準じて、当社が合理的と判断する方法で算出しております。